

大阪経済の情勢

(2021年4月指標を中心に)

2021年6月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

「大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる」

需要面では、個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿; 3月)は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、持ち直している。大阪府(3月)では、生産は上昇、出荷は横ばい。近畿の生産(3月)は低下、全国の前産(4月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、弱い動きが続いているものの、下げ止まりの兆しがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(3月)は低下。

先行きでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動は大幅に下押しされた状態が続いているため、今後の動向に引き続き注意が必要。

		需要								
		総合	消費				投資		貿易・観光	
		一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
4月		↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗
3月		↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘

		供給				
		生産		倒産	雇用	
		生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)
4月		↗	↗	↘	↘	↘
3月		↗	↗	↘	↘	↘

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

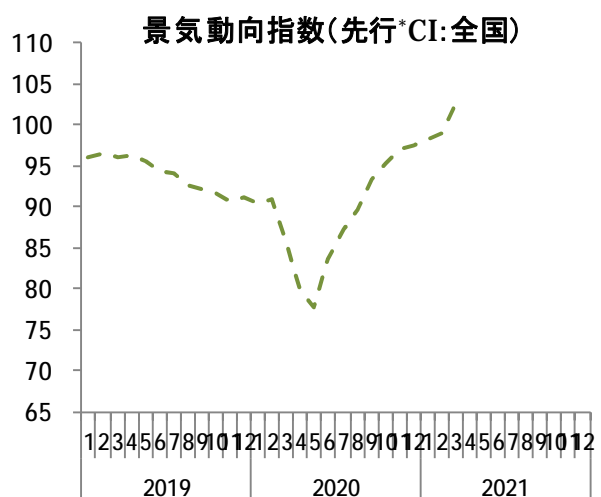
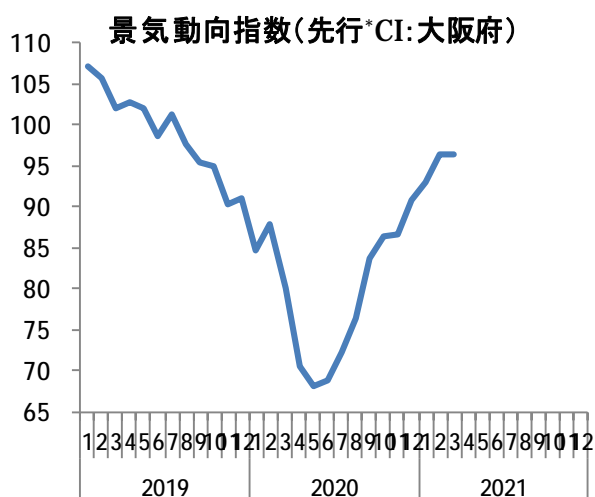
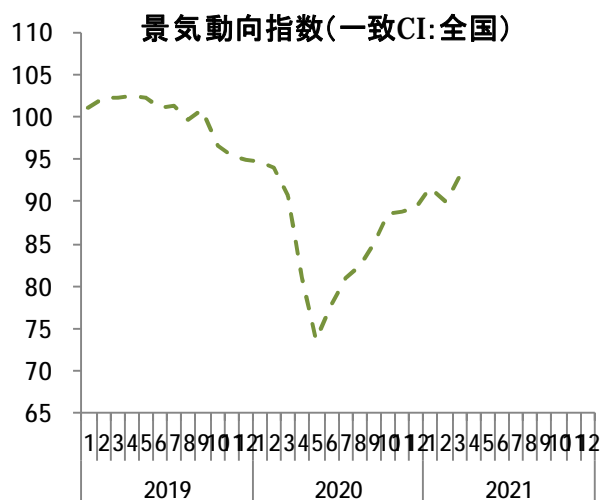
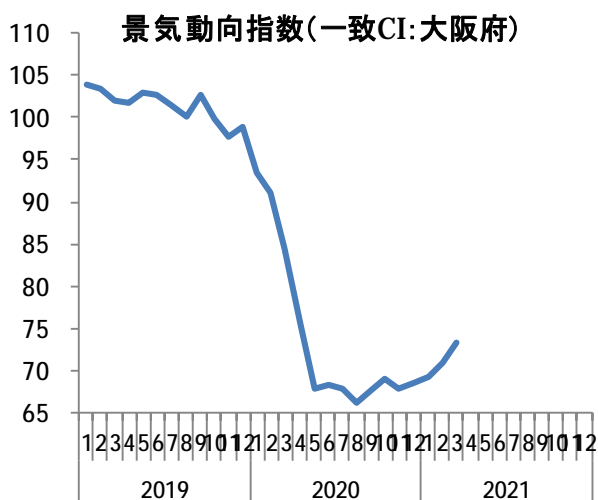
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2021年4月公表分) (2021年2月指標中心)	先月(2021年5月公表分) (2021年3月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済概況」	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、全体として持ち直している。もっとも、まん延防止等重点措置が実施されるもとの、サービス消費への下押し圧力は強い状態にある。	関西の景気は、全体としては持ち直し基調にあるが、緊急事態宣言のもとで、消費への下押し圧力が強まっている。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(3月)では、一致CIは上昇、先行CIは低下。大阪府(一致CI)では、主に「百貨店売場面積当たり販売額」「人件費比率(製造業)」が上昇に寄与。全国(3月)の一致CI、先行CIはともに上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	21年2月	3月	4月
先行CI	96.4	P 96.3	
一致CI	70.9	P 73.4	

	全国		
	21年2月	3月	4月
先行CI	98.9	102.5	
一致CI	89.9	93.0	

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、3月速報)

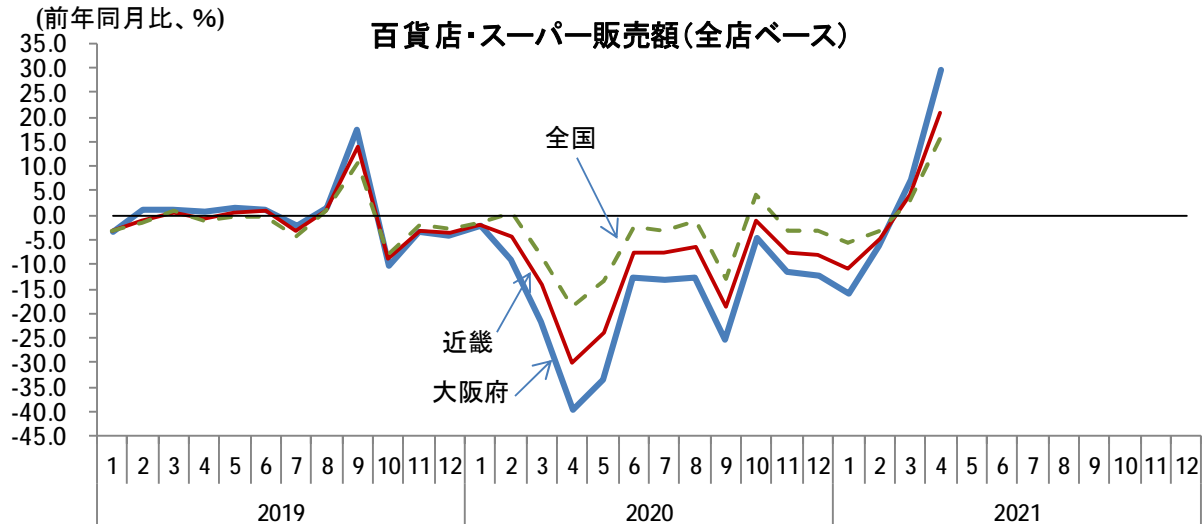
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率(製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
1.34	▲0.14	0.42	0.40	0.50	▲0.30	0.32

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;3月)は増加。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【2ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		21年2月	3月	4月
販売額(億円)	大阪府	1,197	1,353	P 1,161
前年比(%)	大阪府	▲6.1	7.9	P 29.7
	近畿	▲4.9	4.0	P 20.9
	全国	▲3.3	2.8	P 15.7

百貨店販売額(全店)

		21年2月	3月	4月
前年比(%)	大阪府	▲8.1	29.3	P 163.4
	全国	▲11.8	19.3	P 153.1

スーパー販売額(全店)

		21年2月	3月	4月
前年比(%)	大阪府	▲5.1	▲6.9	P ▲3.2
	全国	▲0.8	▲2.2	P ▲0.2

○コンビニエンスストア販売額(全店)【2ヶ月連続の増加。】

		21年2月	3月	4月
販売額(億円)	大阪府	587	665	P 649
前年比(%)	大阪府	▲8.2	3.4	P 9.2
	近畿	▲5.9	4.2	P 9.1
	全国	▲6.6	2.5	P 8.2

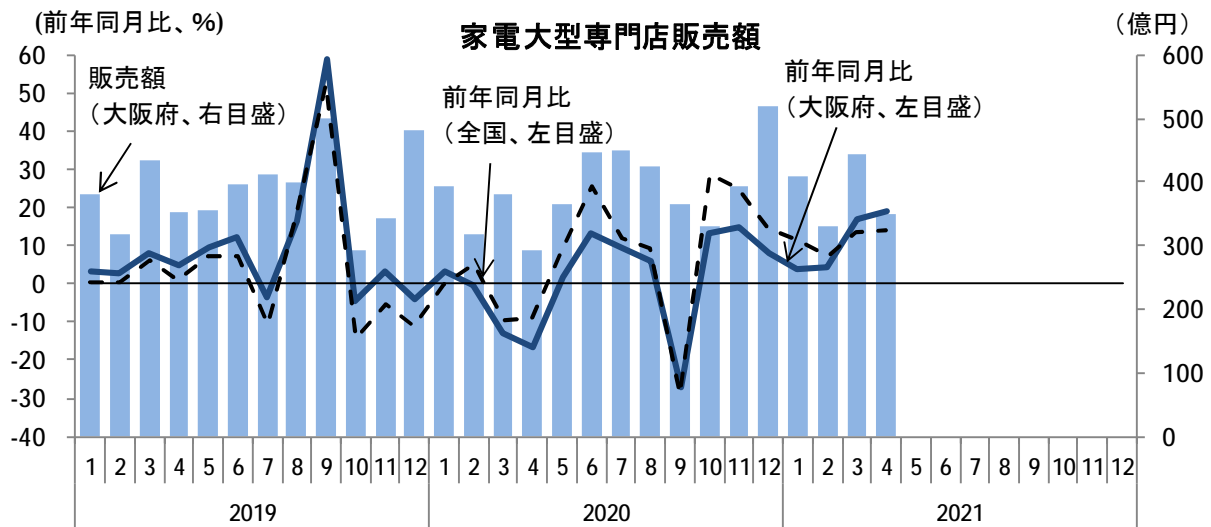
○家計消費支出【近畿(3月)は3ヶ月ぶりの増加。】

		21年2月	3月	4月
円	近畿	239,526	293,890	
前年比(%)	近畿	▲10.0	11.3	
	全国	▲7.1	6.0	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で7ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		21年2月	3月	4月
前年比 (%)	大阪府	4.4	16.8	P 19.1
	全国	7.2	13.6	P 14.2

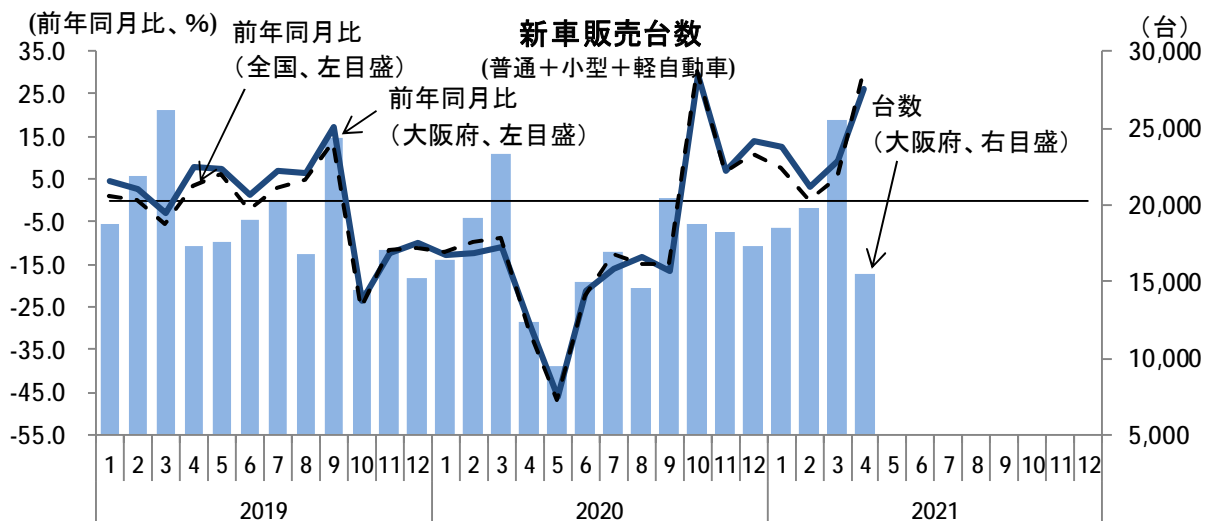
ドラッグストア販売額(全店)

		21年2月	3月	4月
前年比 (%)	大阪府	▲12.7	▲2.2	P 1.3
	全国	▲8.5	▲2.4	P ▲2.8

ホームセンター販売額(全店)

		21年2月	3月	4月
前年比 (%)	大阪府	▲5.7	▲5.8	P ▲1.8
	全国	▲0.1	0.4	P 1.6

○新車販売台数【前年同月比で7ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		21年2月	3月	4月
販売額(台)	大阪府	19,780	25,470	15,514
前年比 (%)	大阪府	3.1	9.2	26.1
	全国	0.0	5.2	31.5

車種別の増減

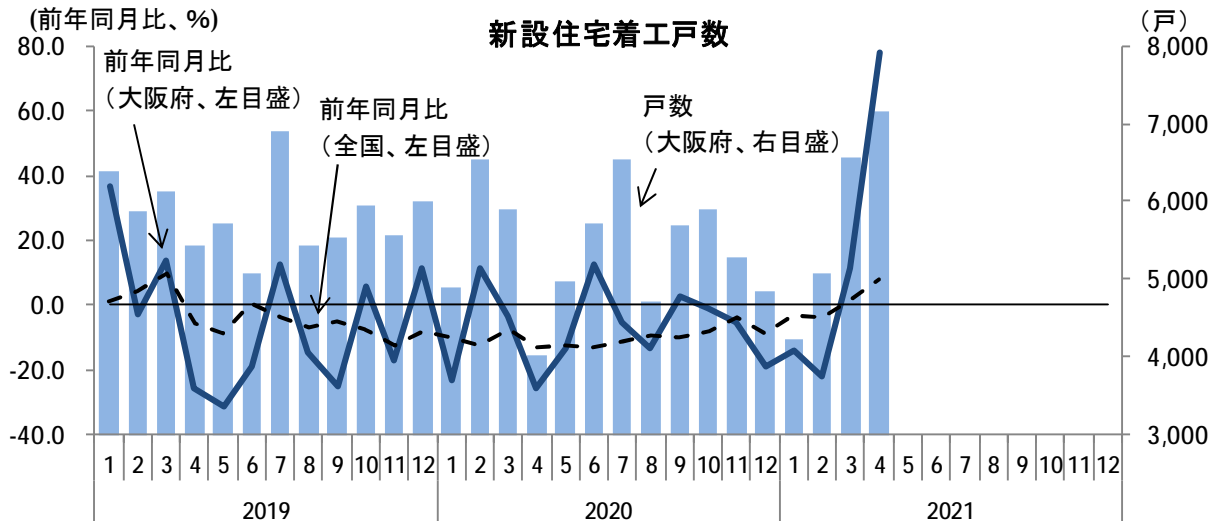
(大阪府、前年同月比(%)、4月)

普通車	小型車	軽自動車
42.4	6.7	27.7

[需要] 投資

投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】

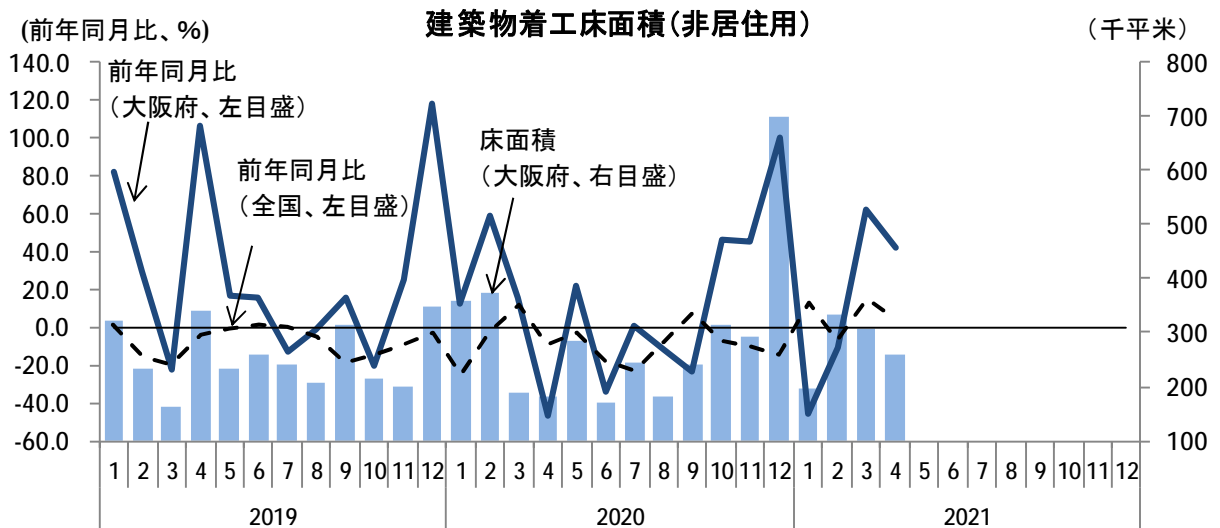


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		21年2月	3月	4月
戸数	大阪府	5,083	6,566	7,150
前年比 (%)	大阪府	▲22.3	11.6	77.8
	全国	▲3.7	1.5	7.1

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%), 4月)		
持家	貸家	分譲
41.7	79.3	96.2

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

		21年2月	3月	4月
千 m ²	大阪府	332	308	258
前年比 (%)	大阪府	▲10.9	62.3	41.6
	全国	▲7.2	14.9	3.0

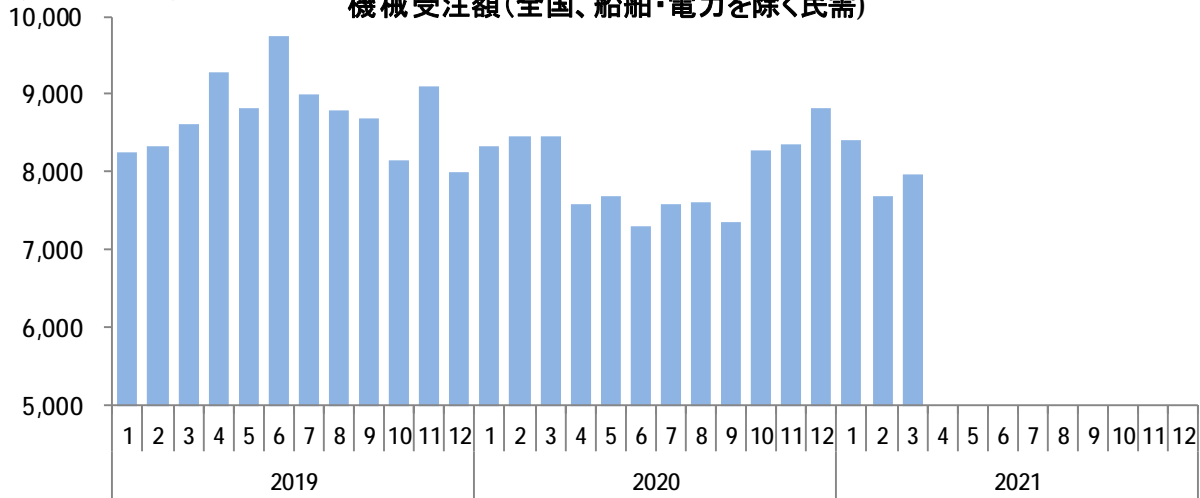
着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%), 4月)	
増加	その他のサービス業(73.6)
減少	宿泊・飲食サービス業(▲21.8)、教育・学習支援業(▲10.4)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

○機械受注額【3月(全国)は前月比で増加。】

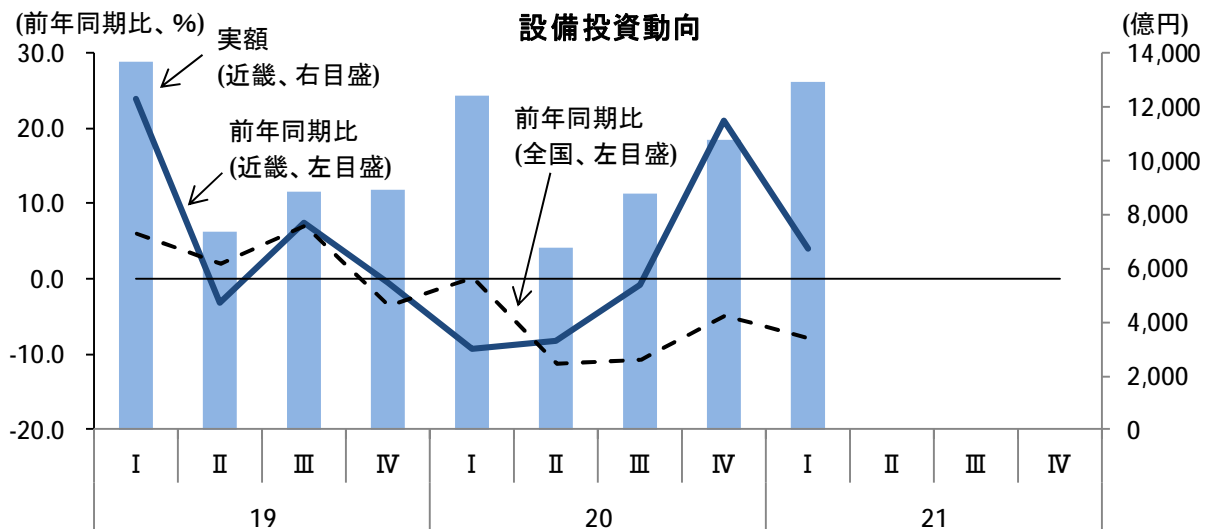
(季調値、億円)



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	21年2月	3月	4月
全国(億円)	7,698	7,981	

○設備投資動向【1~3月期(近畿)は前年同期比で2期連続の増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		20年7~9月	10~12月	21年1~3月
億円	近畿	8,786	10,791	12,928
前年同期比(%)	近畿	▲0.9	21.0	4.1
	全国	▲10.6	▲4.8	▲7.8

○公共工事請負金額【2ヶ月ぶりの増加。】

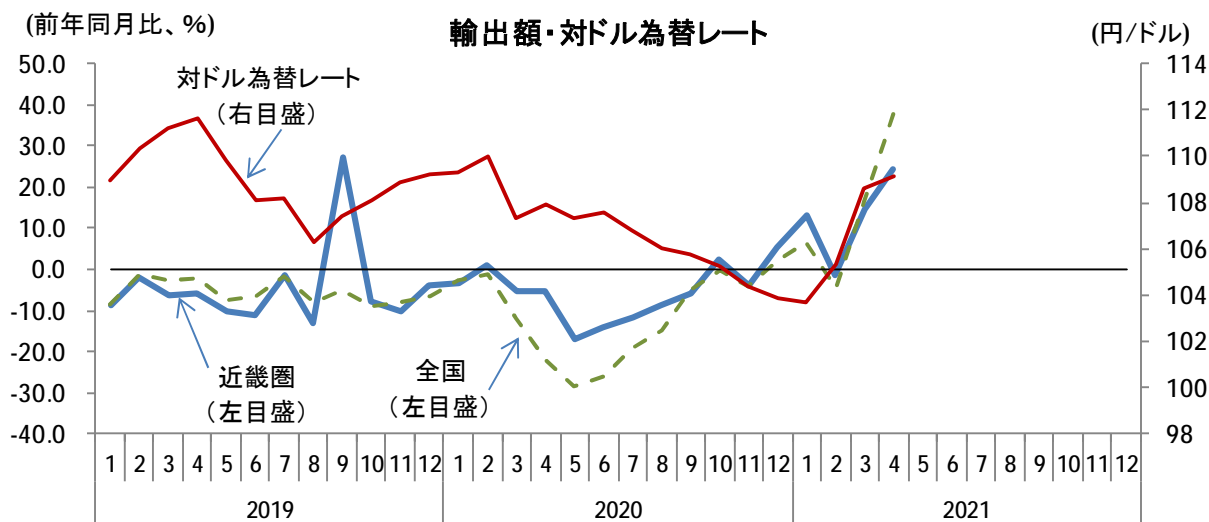
		21年2月	3月	4月
億円	大阪府	304	565	1157
前年比(%)	大阪府	27.9	▲12.2	54.2
	全国	▲7.3	1.9	▲9.2

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【2ヶ月連続の増加。「半導体等製造装置」、「建設用・鉱山用機械」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】



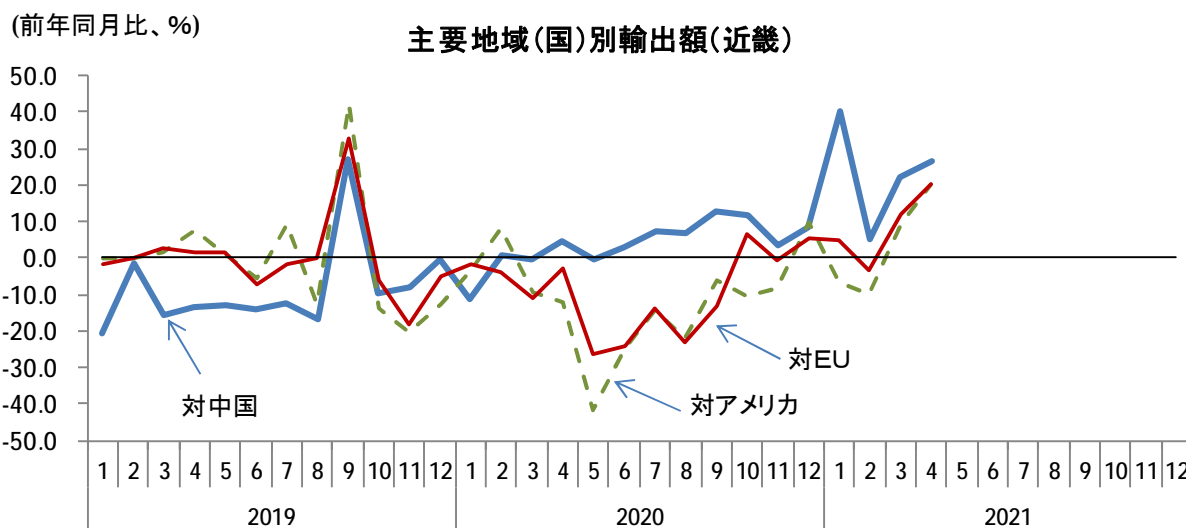
(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		21年2月	3月	4月
輸出額(億円)	近畿	13,116	16,300	P 15,975
前年比 (%)	近畿	▲1.4	14.6	P 24.5
	全国	▲4.5	16.1	P 38.0
為替レート(円/ドル)		105.36	108.65	109.13

品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、4月)

増加	半導体等製造装置、建設用・鉱山用機械
減少	遊戯用具、鉱物性燃料



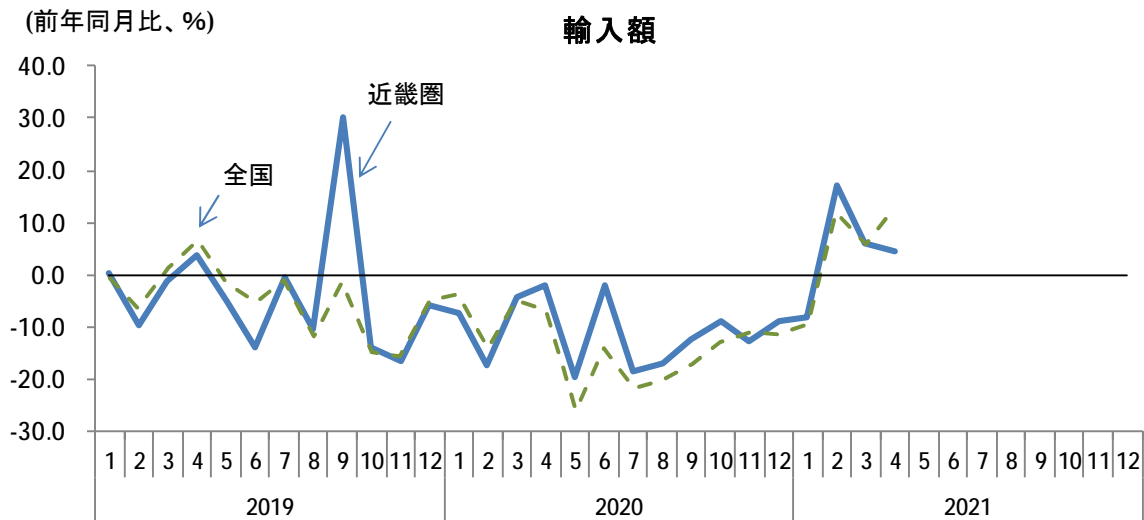
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、4月)

アジア(含む中国)	25.3	5ヶ月連続の増加
中国	26.4	11ヶ月連続の増加
EU	20.1	2ヶ月連続の増加
アメリカ	20.1	2ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【3ヶ月連続の増加。「医薬品」、「音響・映像機器(含部品)」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		21年2月	3月	4月
輸入額(億円)	近畿	10,698	P 12,493	P 12,803
前年比 (%)	近畿	17.1	P 6.2	P 4.4
	全国	11.9	P 5.8	P 12.8

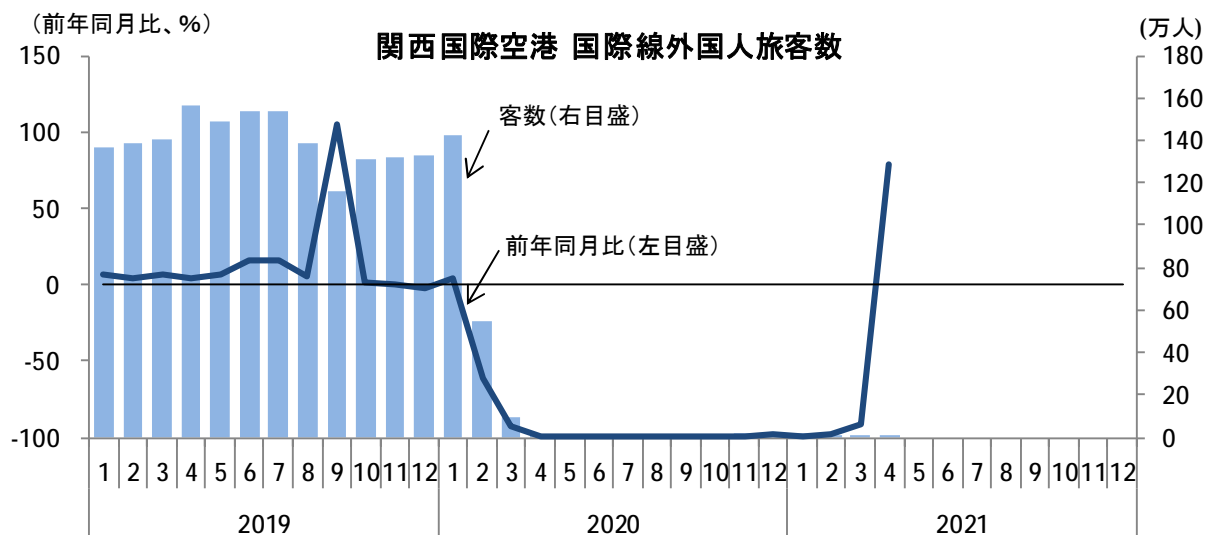
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、4月)

増加	医薬品、原油及び粗油
減少	織物用糸及び繊維製品、天然ガス及び製造ガス

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、4月

アジア(含む中国)	▲0.1	3ヶ月ぶりの減少
中国	▲9.8	3ヶ月ぶりの減少
EU	25.2	4ヶ月連続の増加
アメリカ	10.4	2ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で15ヶ月ぶりの増加。】



(資料)関西エアポート(株)

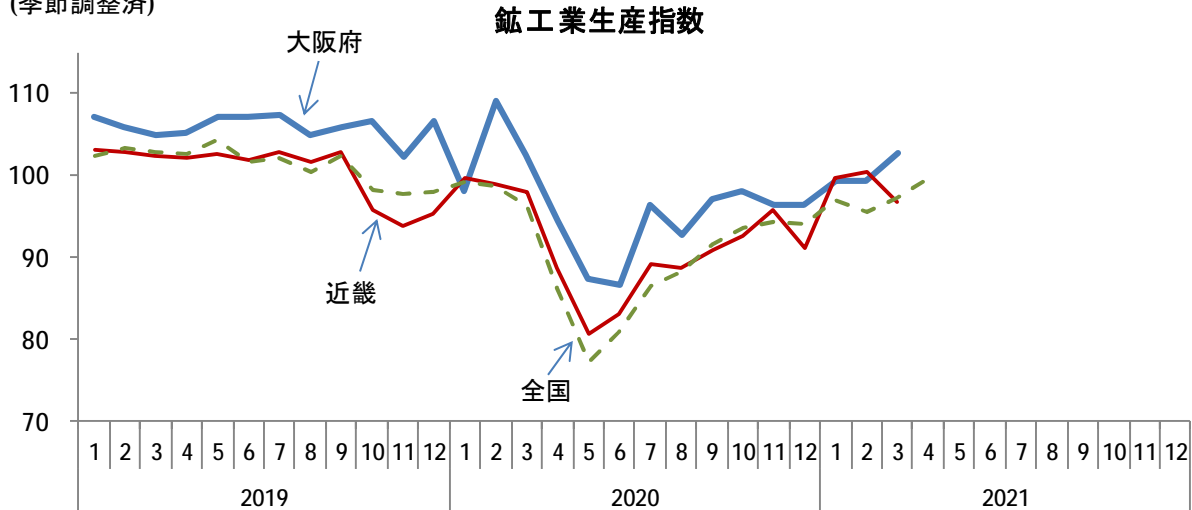
	21年2月	3月	4月
万人	0.8	P 0.8	P 0.8
前年比(%)	▲98.4	P ▲91.8	P 78.3

[供給] 生産・企業活動

生産動向は、持ち直している。大阪府(3月)では、生産は上昇、出荷は横ばい。近畿の生産(3月)は低下、全国の生産(4月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。

○鉱工業生産指数【大阪府(3月)は2ヶ月ぶりの上昇。「化学」、「電気・情報通信機械」などが上昇。近畿(3月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの低下。全国(4月、鉱工業)は2ヶ月連続の上昇。】

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	21年2月	3月	4月
大阪府	99.3	P 102.6	
近畿	100.4	96.8	
全国	95.6	97.2	P 99.6

鉱工業出荷指数

季調済	21年2月	3月	4月
大阪府	97.4	P 97.4	
近畿	97.8	94.8	
全国	94.4	94.8	P 97.3

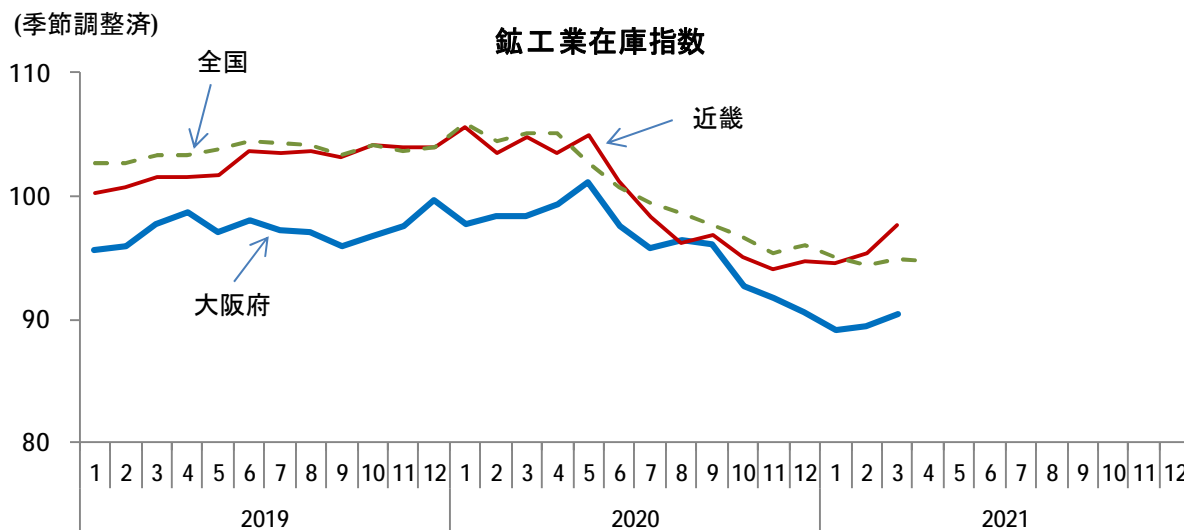
生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、3月速報)

上昇	化学(26.7):医薬品、アンモニア
	電気・情報通信機械(12.4):セパレート形エアコン(室外)、アーク溶接機 その他(X):ゴムベルト、金属製家具
低下	輸送機械(▲40.1):鉄道車両部品、鉄道車両
	生産用機械(▲11.1):バンディングマシン、ショベル系掘削機械
	金属製品(▲3.9):橋りょう、鉄塔

[供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(3月)は2ヶ月連続の上昇。「電気・情報通信機械」、「石油・石炭製品」などが上昇。近畿(3月)は2ヶ月連続の上昇。全国(4月)は2ヶ月ぶりの低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

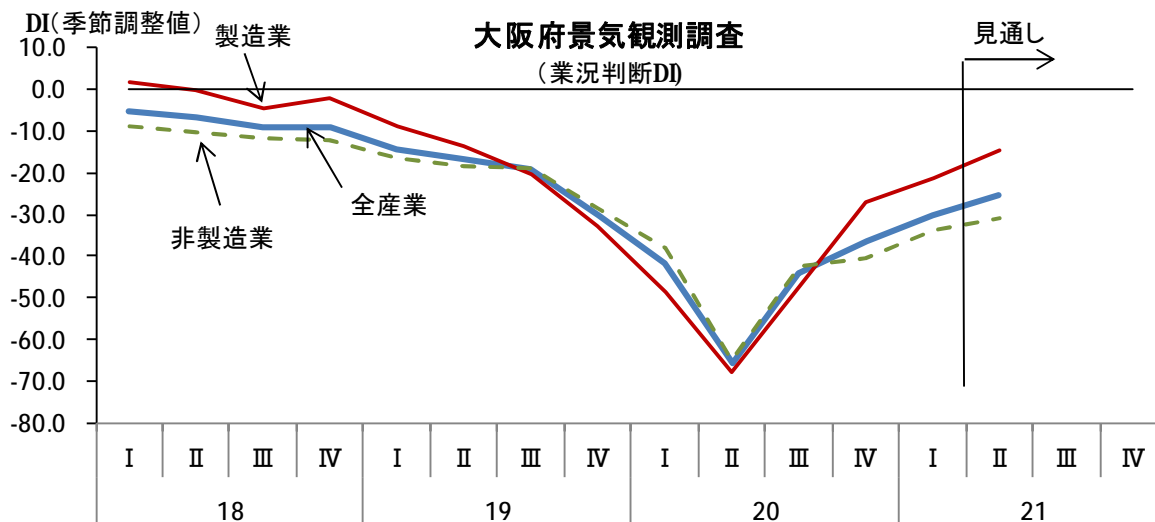
鉱工業在庫指数

季調済	21年2月	3月	4月
大阪府	89.4	P 90.4	
近畿	95.3	97.6	
全国	94.4	94.8	P 94.7

在庫指数における産業別の主な変動
 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、3月速報)

上昇	電気・情報通信機械(12.0):陸上移動通信装置、LED器具(除、自動車用) 石油・石炭製品(X):灯油、ガソリン
低下	輸送機械(▲21.6):小型乗用車 金属製品(▲1.7):飲料用アルミニウム缶、ワイヤロープ

○企業の業況判断【1~3月期(全産業)は3期連続の改善。】

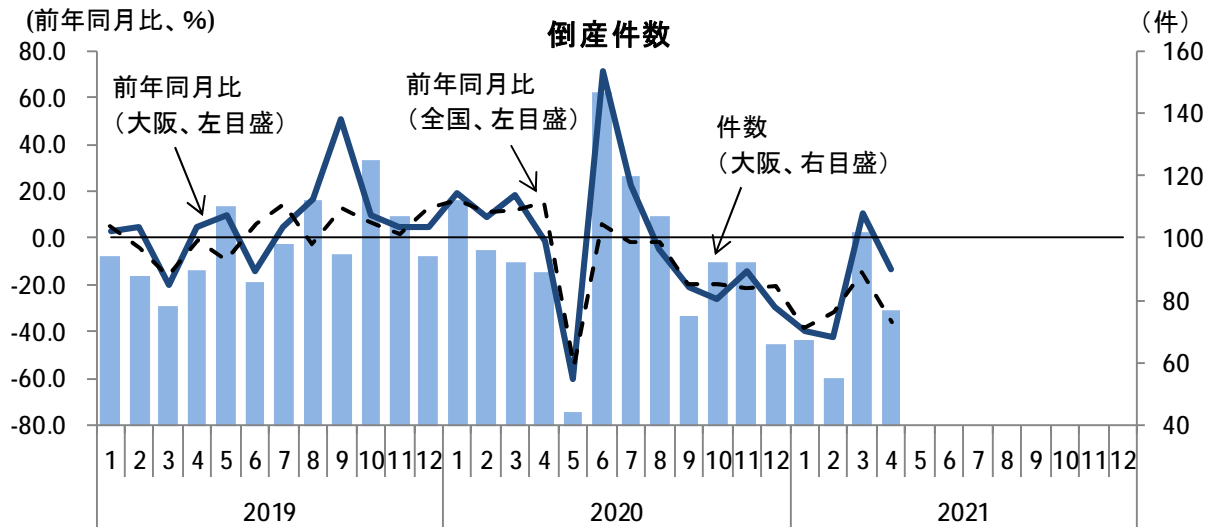


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	20年 7~9月	10~12月	21年 1~3月	4~6月 (見込み)
製造業	▲47.3	▲27.0	▲21.3	▲14.9
非製造業	▲42.5	▲40.4	▲33.9	▲30.9
全産業	▲43.9	▲36.4	▲30.3	▲25.6

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で2ヶ月ぶりの低下(改善)、負債金額は前年同月比で6ヶ月連続の減少(改善)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		21年2月	3月	4月
件	大阪府	55	102	77
前年比 (%)	大阪府	▲42.7	10.8	▲13.4
	全国	▲31.4	▲14.3	▲35.8

負債金額

		21年2月	3月	4月
億円	大阪府	29	89	111
前年比 (%)	大阪府	▲66.7	▲33.6	▲58.1
	全国	▲5.3	33.5	▲41.9

主要業種の倒産件数(大阪府)

	21年2月	3月	4月
建設業	17	21	14
製造業	6	11	7
卸売業	5	9	10
小売業	6	9	11
サービス業他	16	42	24

主な倒産(大阪府、4月)

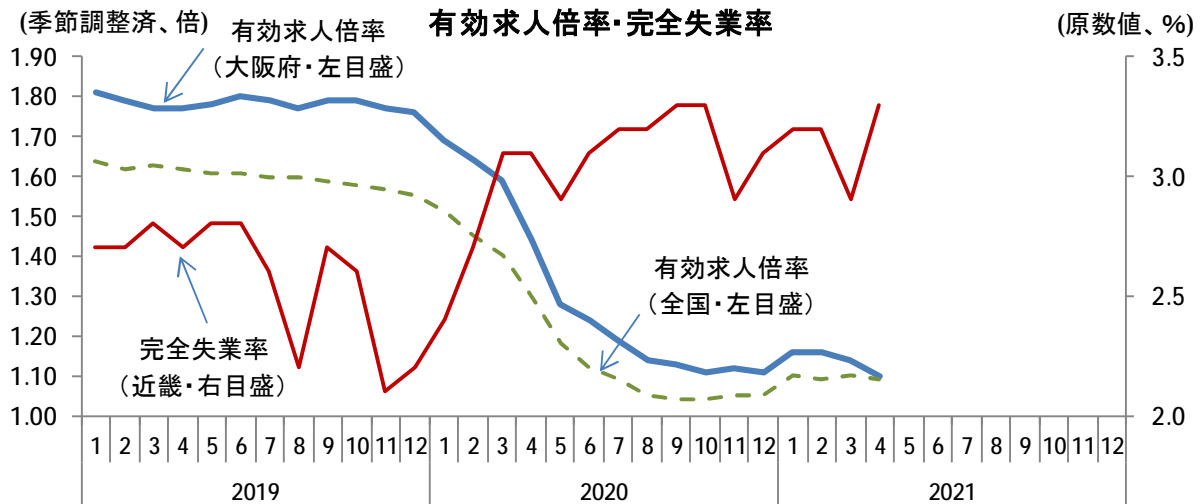
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
食肉卸	6,710	既往のシワ寄せ
総合不動産事業	1,800	放漫経営
不動産仲介	350	販売不振
音楽教室経営	280	販売不振

[供給] 雇用

雇用は、弱い動きが続いているものの、下げ止まりの兆しがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(3月)は低下。

○完全失業率【近畿は2ヶ月ぶりの悪化。】

有効求人倍率【大阪は2ヶ月連続の低下】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月連続の低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	21年2月	3月	4月
%	3.2	2.9	3.3
前年同月差	0.5	▲0.2	0.2

完全失業率(全国、季節調整値)

	21年2月	3月	4月
%	2.9	2.6	2.8
前月差	0.0	▲0.3	0.2

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	20年7~9月	10~12月	21年1~3月
大阪府	3.9	3.3	3.9
近畿	3.2	3.1	3.1
全国	3.0	2.9	2.8

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	21年2月	3月	4月
大阪府	1.16	1.14	1.10
全国	1.09	1.10	1.09

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	21年2月	3月	4月
大阪府	2.30	2.29	2.11
全国	1.88	1.99	1.82

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

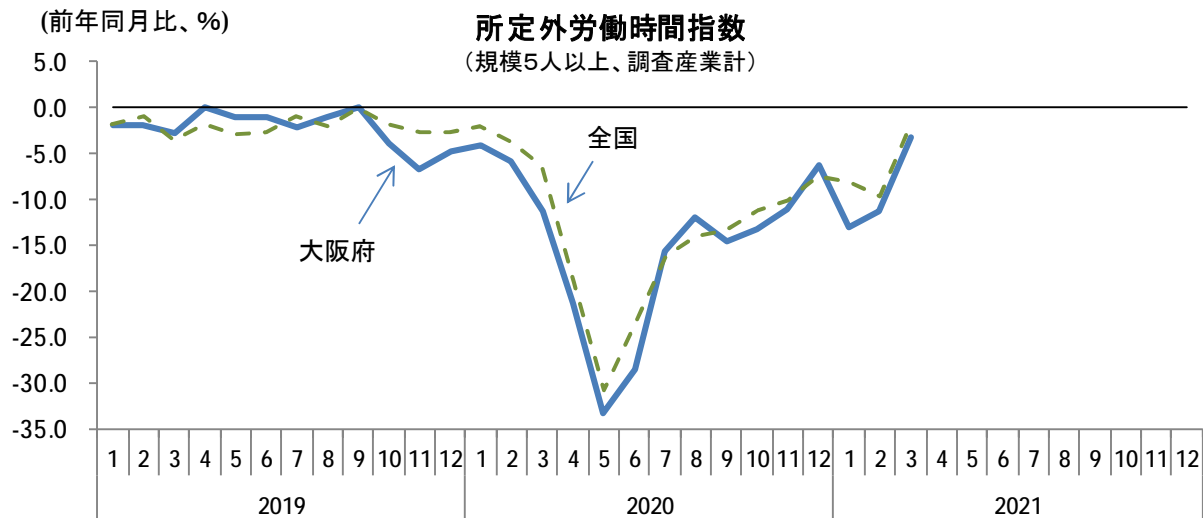
	21年2月	3月	4月
産業計	▲14.2	▲5.1	14.4
建設業	▲4.5	21.5	33.0
製造業	▲17.5	▲0.9	38.1
卸売業、小売業	▲29.7	▲15.6	16.5
宿泊業、 飲食サービス業	▲22.1	▲31.2	6.0
医療、福祉	▲5.1	▲5.1	10.8

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

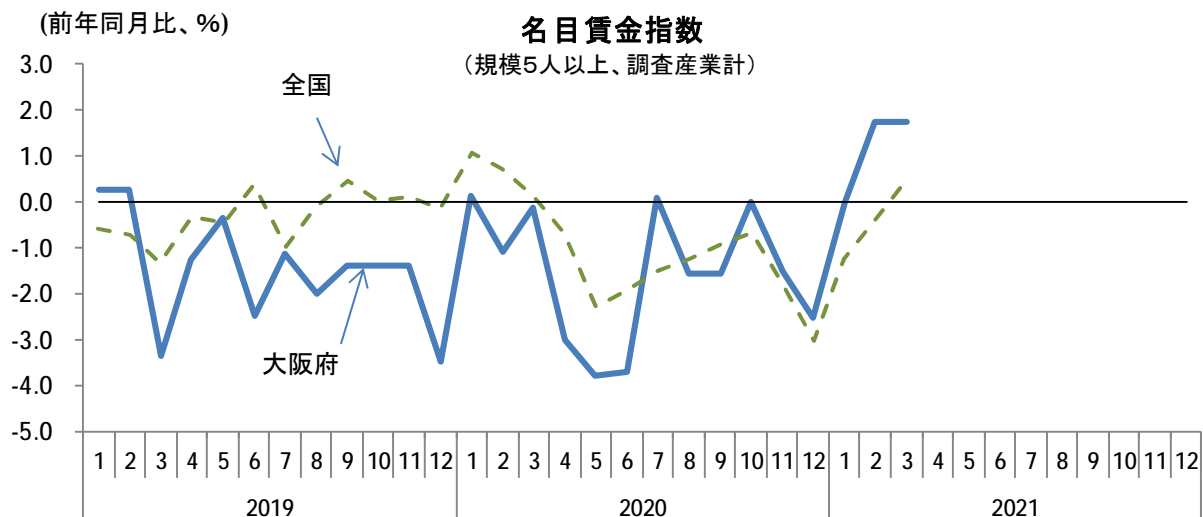
○所定外労働時間指数【大阪府(3月)は18ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2015年=100)による。

		21年2月	3月	4月
指数	大阪府	81.0	86.7	
前年比 (%)	大阪府	▲11.4	▲3.1	
	全国	▲9.7	▲1.9	

○名目賃金指数【大阪府(3月)は2ヶ月連続の上昇。】

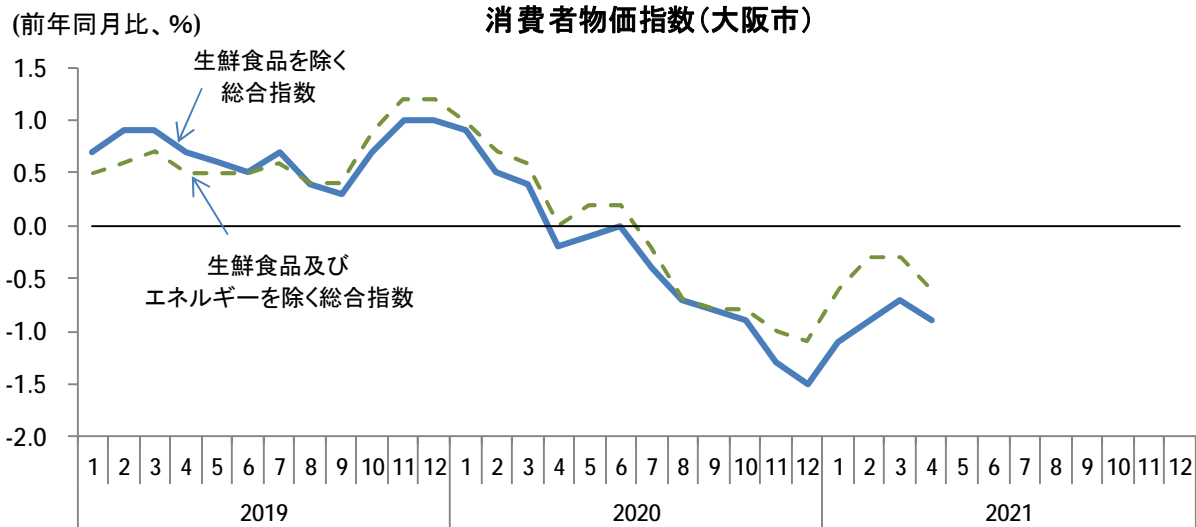


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2015年=100)による。

		21年2月	3月	4月
現金給与総額(円)	大阪府	275,235	293,784	
前年比 (%)	大阪府	1.7	1.7	
	全国	▲0.4	0.6	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 10 ヶ月連続の低下。「食料」「交通・通信」が低下に寄与。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 10 ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2015年=100。

総合指数

		21年2月	3月	4月
指数	大阪市	100.4	100.6	P 99.9
前年比 (%)	大阪市	▲0.9	▲0.8	P ▲1.2
	全国	▲0.4	▲0.2	▲0.4

生鮮食品を除く総合指数

		21年2月	3月	4月
指数	大阪市	100.2	100.4	P 99.7
前年比 (%)	大阪市	▲0.9	▲0.7	P ▲0.9
	全国	▲0.4	▲0.1	▲0.1

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		21年2月	3月	4月
指数	大阪市	101.1	101.2	P 100.4
前年比 (%)	大阪市	▲0.3	▲0.3	P ▲0.6
	全国	0.2	0.3	▲0.2

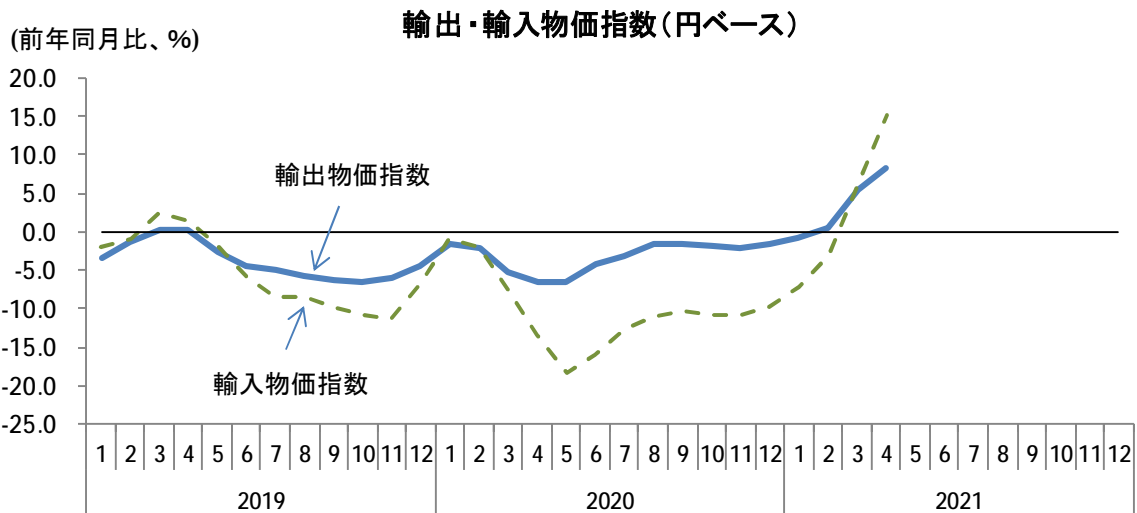
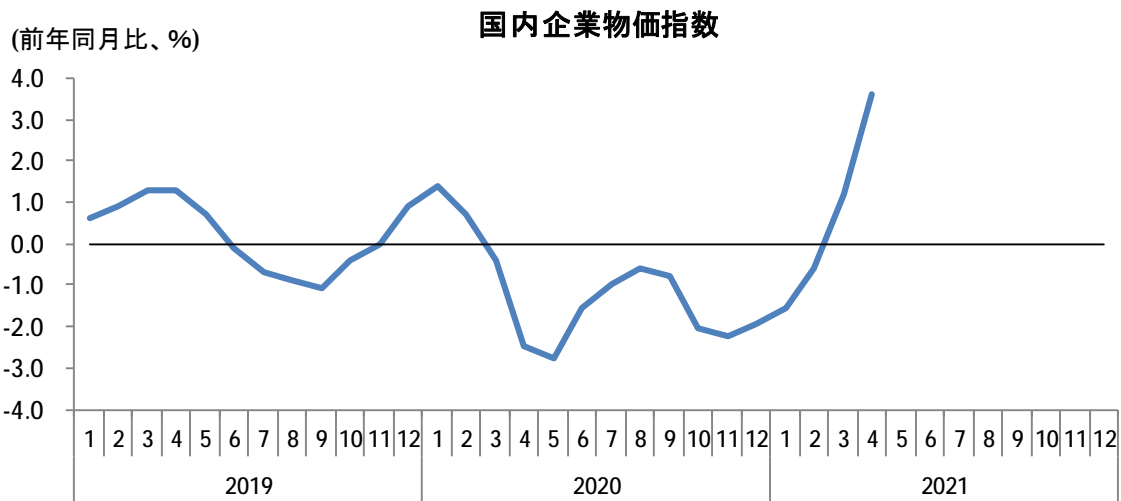
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、4月速報)

上昇	住居(1.1):設備修繕・維持(火災・地震保険料、システムキッチン、温水洗浄便座)
低下	交通・通信(▲5.8):通信(通信料(携帯電話)、携帯電話機)
	食料(▲2.1):果物(りんご、いちご、バナナ)、肉類(牛肉(国産品)、豚肉、牛肉(輸入品))、

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は2015年=100。

企業物価指数

	21年2月	3月	4月
国内企業物価指数	101.3	102.3	P 103.0
輸出物価指数	92.9	95.4	P 96.8
輸入物価指数	91.2	94.7	P 97.0

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2015年=100。

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(4月速報、寄与度(%))

石油・石炭製品 (0.13) : ナフサ、C重油、ジェット燃料油
 化学製品 (0.13) : 触媒、ビスフェノールA、エチレン
 非鉄金属 (0.10) : アルミニウム合金・同二次合金地金、銅地金、黄銅伸銅品